

●吉川先生の「語り」はさすがでした！！ 久々に吉川節が聴けて感動しました。また、とても嬉しく思いました。

物語的語り——という言葉聞き、それが今許されるようになった！？ ということに大きな感慨を覚えます。私が信じてやってきたことに間違いはなかった？！ かどうかはわからず私も随分瞑想しましたが。。 もっと現場の「実践」を取り上げて個々に「語る」という形が充実していけば、もっと素晴らしい会になるのではと思いました。

今日は本当に良い会に参加させていただき、ありがとうございました。

(広島県立忠海高校 坂本良子)

●坂田先生のお話から、研究の目的ということについて考えることができました。

とくに、自分はなぜ研究をしているのかということについて考えました。また、改めて価値判断をするためには知識を習得することが大事だと考えました。

吉川先生のお話からは、意図目的と結果を物語ることが大事だと言われていました。そのことについてもう少し話を聞きたいと思いました。

ありがとうございました。

ワークショップはいつも、いろんな先生と話し合うことができるのがいいと思います。また、峯先生がいろいろとアドバイスをしてくれたので本当に良かったです。有意義なものとなりました。

(兵庫教育大学大学院 宝塚市立丸橋小学校 西尾 諭)

●PBL 型学習、ファシリテーションなどの活動を主軸として学んできたため、社会科の強化に対する浅さを実感していました。本日の研修で本質に迫る研究の大切さを学びました。今後とも研鑽していきたいと思えます。ありがとうございました。

(吹田市立佐井寺中学校 南迫 勝彦)

●本日は本会の設定ありがとうございました。

坂田先生のご提案から、カフェまでの話を通して、自己の省察をさせていただく良い機会となっていました。自分の思い込み、単純化(例えば、話し合いを「成立」させるためには根拠が“絶対に”必要など)に対して、判断したことを振り返ることで新たな根拠を生み出すなど、気づかせていただきました。省察を機能させるためには理論が必要だと改めて考えさせられました。ありがとうございました。

(兵庫教育大学 山内敏男)

●第一部から第三部まで、「語る」が貫かれた構成になっていた。第一部で坂田先生の実践を見て、自分ではどうするかを考え、第2部では第1部で考えたことを語ることができた。流れるような展開で、時間があっという間に過ぎていった。

「語り手⇄聞き手」今回の学習会はこの図のような語り手と聞き手の相互作用の関係が成り立っ

たものがあった。学びの機会をいただき、ありがとうございました。

(宝塚市立長尾小学校 岩下真一郎)

●第二部のワークショップでは、授業において発表する意味や価値を見直すことができました。発表の前段階にある問い、個人の思考（書く、話す）が発表の基盤となると考えています。また、発表は認識形成を深めるための手段であり、「目的」にはならないことも話し合いの中で出てきました。子どものインプット（資料や他者の意見）とアウトプット（発表その他）が有機的に関連している必要があると考えます。

第三部の吉川先生のご講演は、これまでの「理論を構築しそれを元に単元授業開発をする」という研究方法に新たな視点を追加され、自身の刺激となりました。

とても充実した半日となりました。本日までのご準備、当日の運営、まことにお疲れさまでした。ありがとうございました。

(西宮市立名塩小学校 松波軌道)

●第一部では、坂田先生の授業実践の具体を聞くことができ、子どもの判断を大切にしていることがわかりました。しかし、きになることがあります。これは、子どもは判断を通して、社会の仕組みである因果関係や法則まで理解できているかどうかです。防災服は子どもが知覚できるため、わかりやすいものであるのは確かです。それではその防災服を元に因果関係が社会の仕組みとしてどのように成り立っているのでしょうか。防災服かスーツかは国民主権へ？ 防災服のままなら基本的人権？ このような知識を子どもが持ってしまうと、テレビを見たりメディアの情報を見た目で判断してしまうようになってしまいます。つまり、価値判断と言いながら、誤った価値を育成しているのではないのでしょうか。復興は今も続いています。この終わりは服では説明仕切れないと思います。このような点から、判断を目的としながら、誤った価値を育成している可能性のある授業だと思いました。

第二部では社会科観の違いを知ることができました。

第三部では、吉川先生の視点や条件の設定によって教材や子どもを見ることを学ぶことができました。

(明石市立沢池小学校 兵庫教育大学大学院 石田誠)

●学会での学びをどのように日頃の実践に取り入れていくべきか悩んでおりましたので、非常に参考になりました。

授業づくりは、様々な子どもたちがあってできるものと考ええると、語りの対象が変わっていくのもうなづけるなとも感じました。

中心概念、一般的な知識の習得が言葉の上、文字の上だけで終わることの怖さも感じました。十分に検討して学びを作っていきたいなと思いました。ありがとうございました。

(奈良市富雄第三小学校 河野晋也)

●三部構成は頭をよく動かすという点で大変有益でした。

内容も私自身にとって切実な課題（院生対象でも子ども対象でも）でしたのでよく引き込まれました。三連休はかえって出てきやすいので、はやめにアナウンスいただければと思います（飛行機を取りやすいので）。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

（北海道教育大学教職大学院 前田輪音）

●第1部、実践報告、第二部ワークショップ、第三部ディスカッションという構成によって、学びが継続し充実した時間を過ごすことができました。第二部で「学習者が自分の考えを発表するため～」という問いに対して、「自分の考え」を持たせることが大切だということをグループで共通認識できました。人の話を聞くだけでなく、第二部のような話し合いを位置付けたプログラムが良かったです。これからも社会科授業の質が向上するよう努めていきたいと思います。

（兵庫教育大学大学院 姫路市立旭陽小学校 下野哲宏）

●実践発表の中で「判断場面の類型」があり、これが歴史教育の授業の中で生かせるのではないかと思います。歴史学習の中での判断場面を設定することはできるものの、今現在に生きる自分の過去のある時点の判断を果たしてできるのかという問題を常に持ち続けていたからです。従って、とても参考になりました。「ワールドカフェ」は面白い手法で、自分の意見をフランクに話せることから、肩のこらない意見交流ができたように思います。吉川幸男先生の話も聞かせていただき、一般化抽象化した理論ではない手法で、一般化を試みるという手法は極めて面白かったです。本当にありがとうございました。

（真実ヶ丘中学校 中谷昇）

●本日はありがとうございました。やはり誰に向けて語るのかもあると思いました。社会科研究の論文として語るのか、学年を組んでいる初任者に語るのかでは語り方が違ってくるのだと。語る対象によって変えているのだと思います。なぜ語りを拓かないといけないのかも、時代や教育現場の状況なのだろうと理解しています。

（広島大学附属東雲小学校 広島大学大学院生 カミノユキタカ）

●吉川先生のお話で、子どもの意見をどのように価値づけ、「広げて」いくことができるのかについて大切なヒントをいただきました。意見の類型化を、今後の実践でぜひ活用していきたいです。貴重な学びの機会になりました。ありがとうございました。

（兵庫教育大学大学院 中学校 魚谷亮太）

●今日は途中からでしたが参加させていただきとても実りのあるものとなりました。ありがとうございました。

現在小学校における学校内歴史資料室（郷土資料室）の保存と活用について研究しております。まずは現場の先生の話聞くことが大切だと思い参加しました。ありがとうございました。

（佛教大学大学院 一色範子）

●「作る側」の立場で参加させていただきました。皆様現場の第一線でご指導されている方々でしたので、素人の私には理解するのが難しいこともありましたが、今回参加して気付かされたこともありました。自分の意見を子どもたちに言わせるということも大変大事ですが、その一歩先に「人の話を聞く力」を身につけるといふことがあるのに気付かされました。今後のものづくりの際に「人の話を聞く」ということを意識した発問などを考えてみたいと思います。

現場の先生方の生の声や、社会科教育学の第一線の先生方のお話を聞くこともできるので、今後もうこういった現場の先生方と研究者の先生方のディスカッションできる場があると大変勉強になります。

(帝国書院 岡本龍治)

●本日は貴重な機会をいただきありがとうございました。

南浦先生との対談形式は、とてもよかったです。時間がもっとあれば良かったと思います。いつもの講話、講演では話せないような内容を引き出してくださりそうでした。

ワークショップも大変有意義で、楽しかったです。こちらもワールドカフェ風ではなく、ワールドカフェとしてできれば良かったです。

吉川先生には大変興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

(徳島大学 坂田大輔)

●ありがとうございました。学校での授業実践を客観的に見ることができ多くの視座を与えていただきました。

坂田先生の具体的な研究報告から「動きからズレ」を発見し、論点に教材化していく視点、鋭さに強い刺激を受けました。ワークショップでは、普段の学級経営（子どもの人間関係づくりの大切さ、アウトプット、インプットの側面から考えること）

吉川先生のご講演では、今後の研究の方向をご教示いただき、とてもわかりやすかったです。参考にさせていただきます。

(尼崎市立大庄北中学校 倉橋忠)